

UDC 697 : 662.75 : 662.76

A 4003

JIS

温 風 暖 房 機

JIS A 4003-1995

(2001 確認)

(2006 確認)

平成 7 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 45.5.1 改正：平成 7.11.1

官報公示：平成 7.11.1

原案作成協力者：日本暖房機器工業会

審議部会：日本工業標準調査会 建築部会（部会長 岸谷 孝一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

温風暖房機

A 4003-1995

Warm air furnaces

1. 適用範囲 この規格は、主として暖房に用いる灯油、重油、都市ガス又は液化石油ガスを燃料とする定格暖房能力18.6 kW{16 000 kcal/h}以上の温風暖房機について規定する。ただし、JIS S 2039及びJIS S 2122を除く。

備考1. この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS B 0113及びJIS S 2091によるほか、次のとおりとする。

- (1) 煙道 温風暖房機内で、熱交換器から排気筒又は煙突へ燃焼排ガスを導く通路。
- (2) 煙突 燃焼排ガスを屋外へ排出する通路であって、立ち上がりがあり、ドラフト効果が期待できるもの。
- (3) 不着火 着火動作において火がつかないこと。
- (4) 結露 冷たいものの表面に触れた空気又は燃焼ガスの温度が下がり、その部分の湿度が100 %となったとき水蒸気が凝結して水滴となる状態。

3. 種類及び記号 温風暖房機は、形式及び使用燃料によって区分し、その種類及び記号は、次による。

3.1 形式による区分 形式による区分は、表1のとおりとする。

表1 形式による区分

形式	記号	参考
直接吹出形	P	付図1
ダクト接続 送風機組込形	D	付図2
ダクト接続 送風機別置形	S	付図3

3.2 使用燃料による区分 使用燃料による区分は、表2のとおりとする。

表2 使用燃料による区分

使用燃料	記号
灯油	JIS K 2203に規定する1号 K
重油	JIS K 2205に規定する1種 A
	JIS K 2205に規定する2種 B
	JIS K 2205に規定する3種 C
ガス	都市ガス TG
液化石油ガス	JIS K 2240に規定する1種1号 LPG1
	JIS K 2240に規定する1種2号 LPG2
	JIS K 2240に規定する1種3号 LPG3